

教職員公募

ホーム > 教職員公募

東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻 <特任助教または特任研究員>（特定有期雇用教職員）募集要項

1 職名及び人数

特任助教または特任研究員 いずれか 1名

2 契約期間

令和7年6月1日（以降できるだけ早い時期）～令和8年3月31日

3 更新の有無

更新する場合があり得る。更新する場合は1年ごとに行う。更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状態等を考慮のうえ判断する。最終任期満了予定日：令和10年3月31日（最長でプロジェクト終了日まで）

4 試用期間

採用された日から14日間

5 就業場所

大学院理学系研究科生物科学専攻人類進化生体力学研究室（東京都文京区本郷7-3-1）

（変更の範囲）

特任助教の場合：本学の指定する場所（配置換又は出向を意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

特任研究員の場合：原則同一部局内

6 業務内容

バイオメカニクス（“アフリカ大型類人猿の四足歩行の生体力学的解析および筋骨格シミュレーション”に取組んでいただきます。）

（変更の範囲）

特任助教の場合：配置換、兼務及び出向を命じることがある（意に反して命じられることは原則ない。詳細は東京大学教員の就業に関する規程第4条による。）

特任研究員の場合：配置換、兼務及び出向を命じることがある

7 就業時間

専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。

8 休日・休暇

土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

年次有給休暇、特別休暇 等



9 賃金等

年俸制を適用し、業績・成果手当を含め月額30万円～40万円程度（資格、能力、経験等に応じて決定する）、通勤手当（支給要件を満たした場合。月額55,000円まで）

10 加入保険

法令の定めるところにより、文部科学省共済組合、雇用保険に加入

11 応募資格

- 1) 博士の学位を取得済み、または着任時までに取得見込みであること。
- 2) 生体力学、歩行分析、筋骨格モデル、動力学シミュレーション等の経験があること。動物の歩行運動の研究経験は不問。

12 提出書類

- 1) 履歴書（様式任意）（メールアドレスが記載されていること）
- 2) これまでの研究概要（2000字程度）
- 3) 当該領域における研究の抱負および自身の能力を発揮できる点についてまとめたもの（A4で2枚以内）
- 4) 業績リスト
- 5) 代表論文3編以内のPDFファイル
- 6) 所見を伺える照会者の氏名と連絡先（電子メールアドレス）

13 提出方法

電子メールにて12に記載の応募書類1～6を提出すること（応募書類をすべて1つのPDFにまとめること）。提出先は15問い合わせ先メールアドレス。※2～3日以内に当方から受信確認メールが届かない場合はお問い合わせください。

14 応募締切

令和7年4月30日（水曜日）必着 書類選考の上、合格者に対し面接を実施（原則として対面にて。面接に要する旅費は支給しない）。採用者が決まり次第、募集を終了します。なお、面接予定者のみ連絡いたします。また、連絡に電子メールを利用することができますので、応募書類にメールアドレスを記載してください。

15 問い合わせ先

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻
荻原 直道
電話：03-5841-2681
E-mail：ogihara@bs.s.u-tokyo.ac.jp

16 募集者名称

国立大学法人東京大学

17 受動喫煙防止措置の状況

敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）

18 その他

■外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。従って、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要がありますので、予めご承知おき願います。

■取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。

■東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。

■産前・産後休暇、育児休業又は介護休業を取得した場合の契約期間の取扱い：中断期間分の雇用延長はしない

その他

公募

アクセス

お問い合わせ

撮影・取材について

News +

理学系について +

研究 +

入学案内 +

教育 +

国際 +

支援 +

卒業生・修了生 +

寄付のご案内 +

社会貢献

公募 | アクセス | お問い合わせ

撮影・取材について | ポリシー | サイトマップ



© 2024 東京大学 大学院理学系研究科 広報委員会